

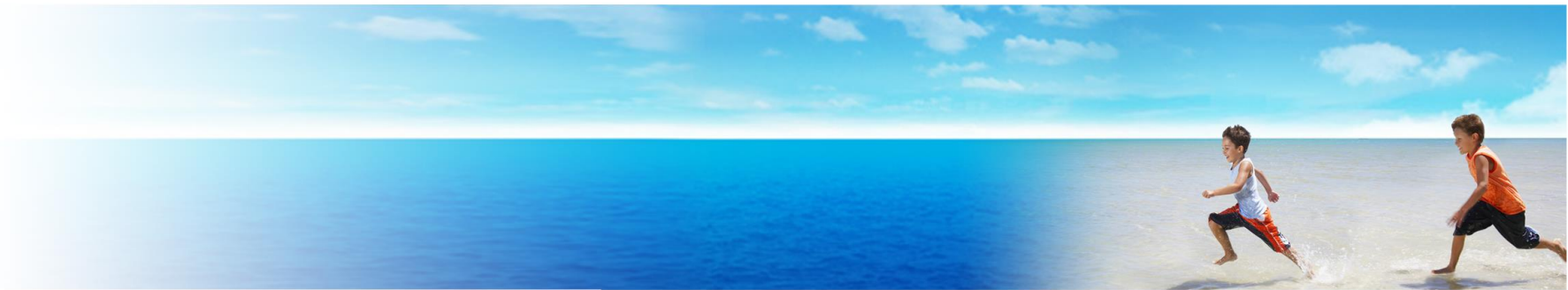
2023年3月期

第3四半期 決算説明資料

第99期：第3四半期累計期間

(2022年4月1日～2022年12月31日)

2023年2月2日



太平洋五業株式会社

1. 第3四半期業績
2. 2022年度通期予想

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 3Q 連結業績



売上は過去最高となるも、材料などコストアップにより減益

(億円、%)

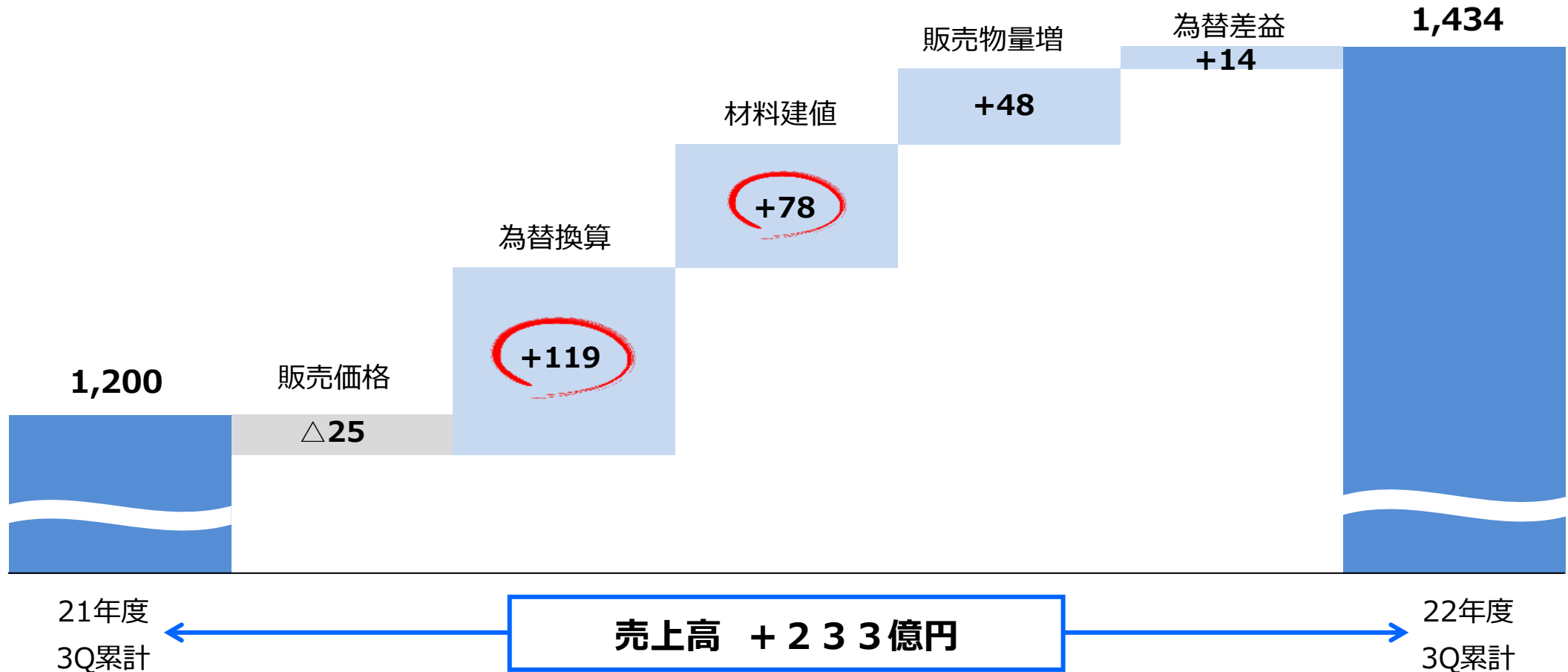
	2021年度	2022年度		前年同期比	
	3Q累計実績	過去最高	3Q累計実績	増減	増減率
売上高	1,200	過去最高	1,434	+233	+19.5
営業利益	過去最高 77		56	△20	△26.9
営業利益率	6.5%		4.0%	△2.5P	-
経常利益	過去最高 100		85	△15	△15.1
経常利益率	8.4%		5.9%	△2.5P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	過去最高 74		62	△12	△16.2
四半期純利益率	6.2%		4.3%	△1.9P	-
平均為替レート (米ドル)	110.9円		135.4円	+24.5円	-

1-2 3Q 連結売上高 増減要因



円安、鋼材価格上昇、海外生産回復により売上高は3Qとして過去最高

単位: 億円

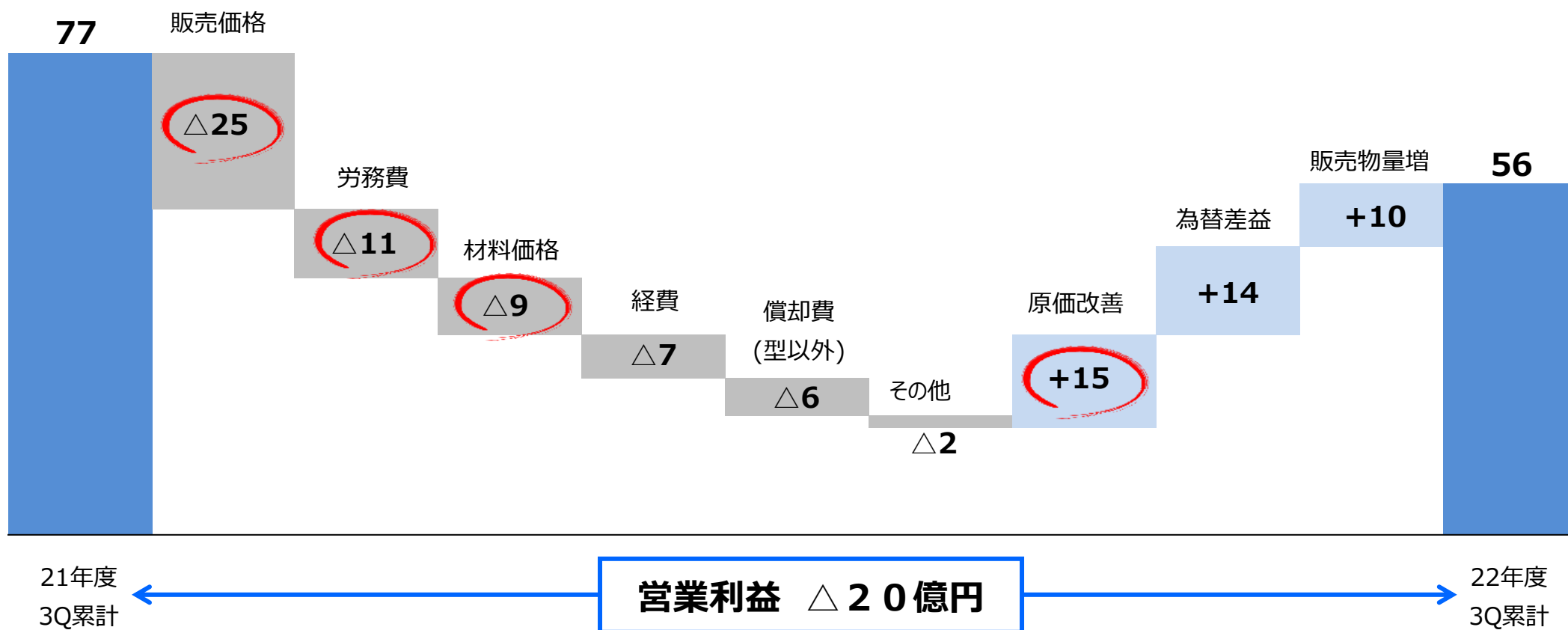


1-3 3Q 連結営業利益 増減要因



原価改善に取り組むも、販売価格低下・コスト増により減益

単位: 億円



1-4 3Q 連結事業別セグメント



プレス・樹脂、バルブともに増収・減益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21/3Q 累計実績	22/3Q 累計実績	前年同期比		21/3Q 累計実績	22/3Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	829	1,027	+197	+23.8	32	20	△12	△37.8
営業利益率					3.9%	2.0%	△1.9P	
バルブ	369	405	+36	+9.8	45	36	△9	△19.9
営業利益率					12.2%	8.9%	△3.3P	

1-5 3Q 連結地域別セグメント



日本・欧米は増収・減益、アジアは増収・増益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21/3Q 累計実績	22/3Q 累計実績	前年同期比		21/3Q 累計実績	22/3Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	507	553	+45	+9.0	46	35	△10	△23.2
営業利益率					9.2%	6.5%	△2.7P	
欧米	455	559	+103	+22.8	8	△13	△21	-
営業利益率					1.9%	△2.3%	△4.2P	
アジア	237	321	+84	+35.5	22	29	+7	+31.5
営業利益率					9.5%	9.2%	△0.3P	

1. 第3四半期業績
2. **2022年度通期予想**

2-1 通期 連結業績予想



通期予想は10月26日発表値を据え置き、売上高は過去最高を更新の見込み

(億円、%)

	2021年度	2022年度	前期比	
	実績	前回予想を据置	増減	増減率
売上高	1,644	1,850	+205	12.5%
営業利益	107	85	△22	△21.0%
営業利益率	6.5%	4.6%	△1.9P	—
経常利益	146	115	△31	△21.3%
経常利益率	8.9%	6.2%	△2.7P	—
※ 当期純利益	98	83	△15	△15.3%
ROE	8.1%	6.2%	△1.9P	—
ROA(営業利益ベース)	4.6%	3.4%	△1.2P	—
一株当り純資産	2,138円	2,316円	178円	8.3%
※ 平均為替レート(米ドル)	112.1円	134.4円	22.3円	—

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

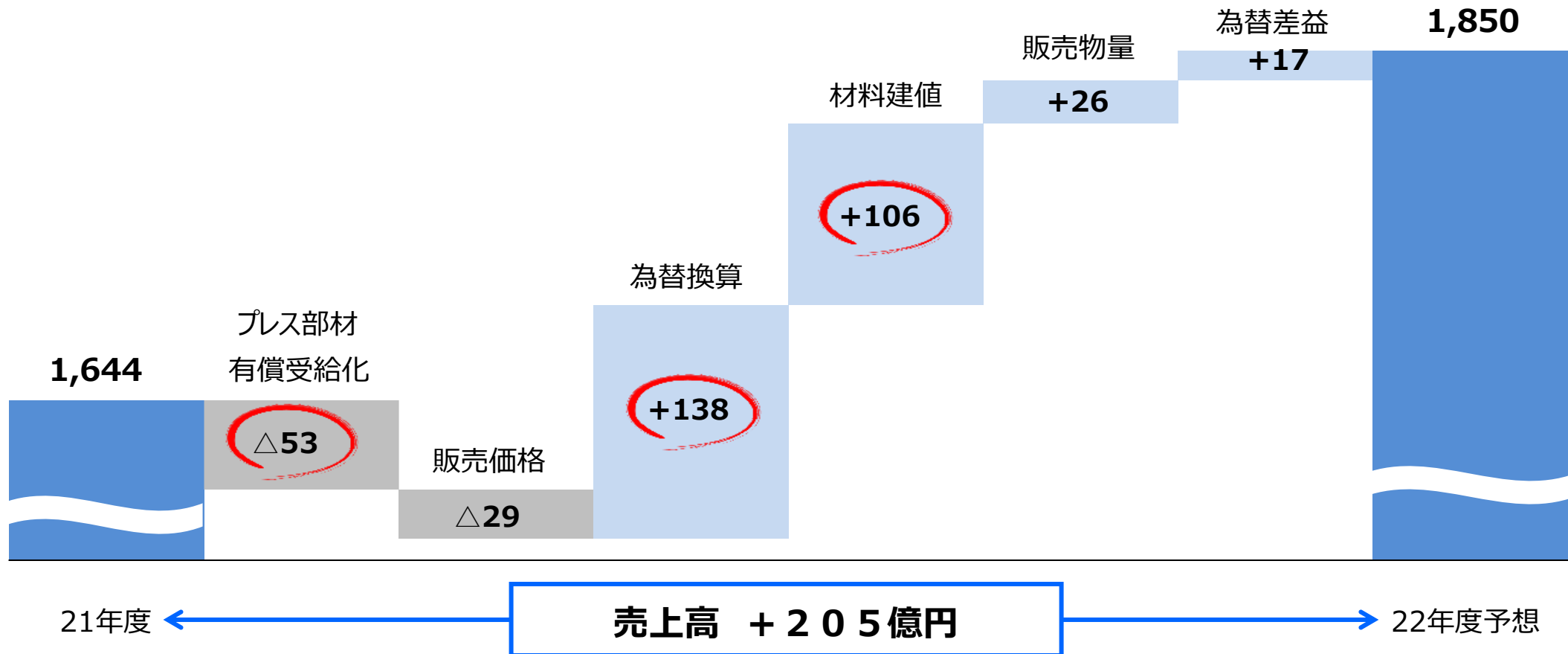
※第4四半期以降の為替レート前提を、前回10/26発表値 140円/\$から、今回予想値 130円/\$に見直しています。

2-2 通期 連結売上高 増減要因



円安、鋼材価格上昇、海外生産回復により売上高は過去最高

単位: 億円

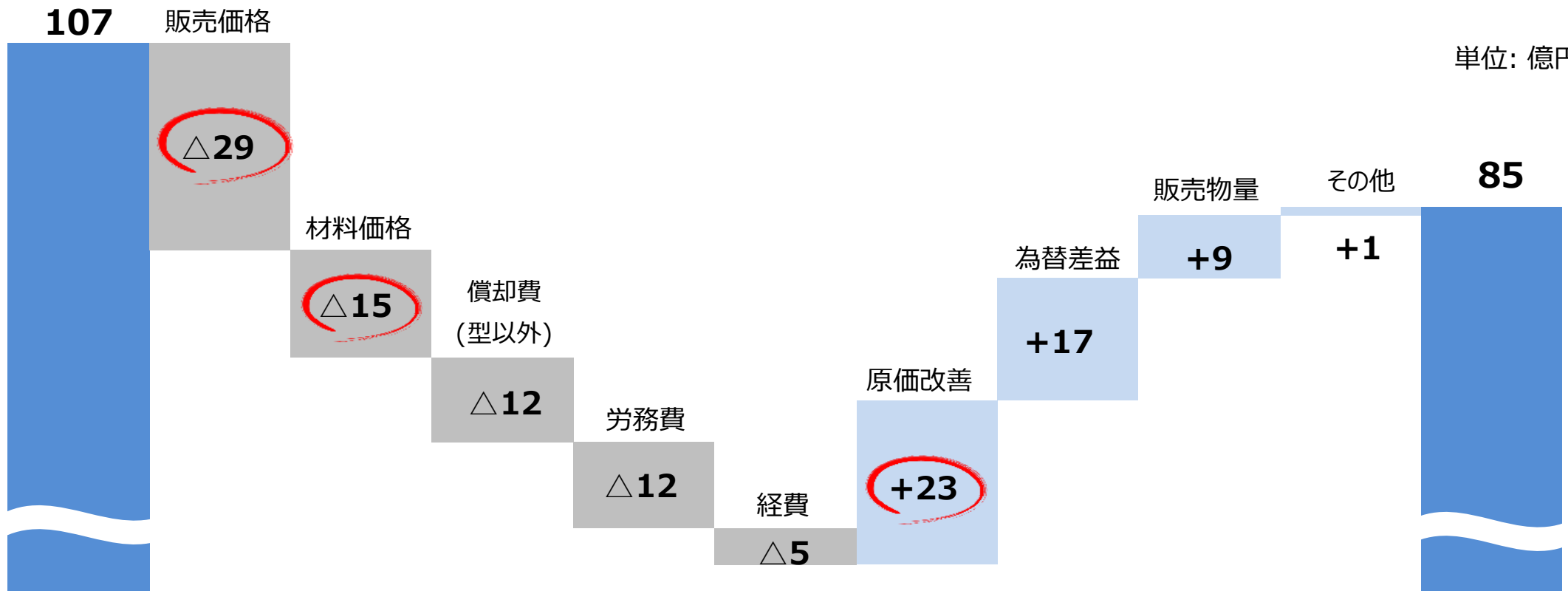


2-3 通期 連結営業利益 増減要因



原価改善に取り組むも、販売価格低下・コスト増により減益

単位: 億円



21年度

営業利益 Δ 22億円

22年度予想

2-4 通期 連結事業別セグメント



プレス・樹脂、バルブともに増収・減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21年度 実績	22年度 予想	前期比		21年度 実績	22年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,142	1,323	+180	+15.8	49	43	△6	△12.7
(プレス部材有償受給化影響)		※ (△53)						
営業利益率					4.3%	3.3%	△1.0P	
バルブ	499	526	+26	+5.2	58	43	△15	△26.2
営業利益率					11.7%	8.2%	△3.5P	

※2022年度第4四半期より、プレス部材有償受給化の増加により、53億円の売上減少を見込みます。利益への影響はありません。

2-5 通期 連結地域別セグメント



日本・欧米は増収・減益、アジアは増収・増益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21年度 実績	22年度 予想	前期比		21年度 実績	22年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	687	699	+11	+1.6	61	50	△11	△18.7
(プレス部材有償受給化影響)		※ (△53)						
営業利益率					8.9%	7.2%	△1.7P	
欧米	612	734	+121	+19.8	13	△5	△18	-
営業利益率					2.2%	△0.7%	△2.9P	
アジア	344	417	+72	+21.0	31	36	+4	+13.7
営業利益率					9.2%	8.6%	△0.6P	

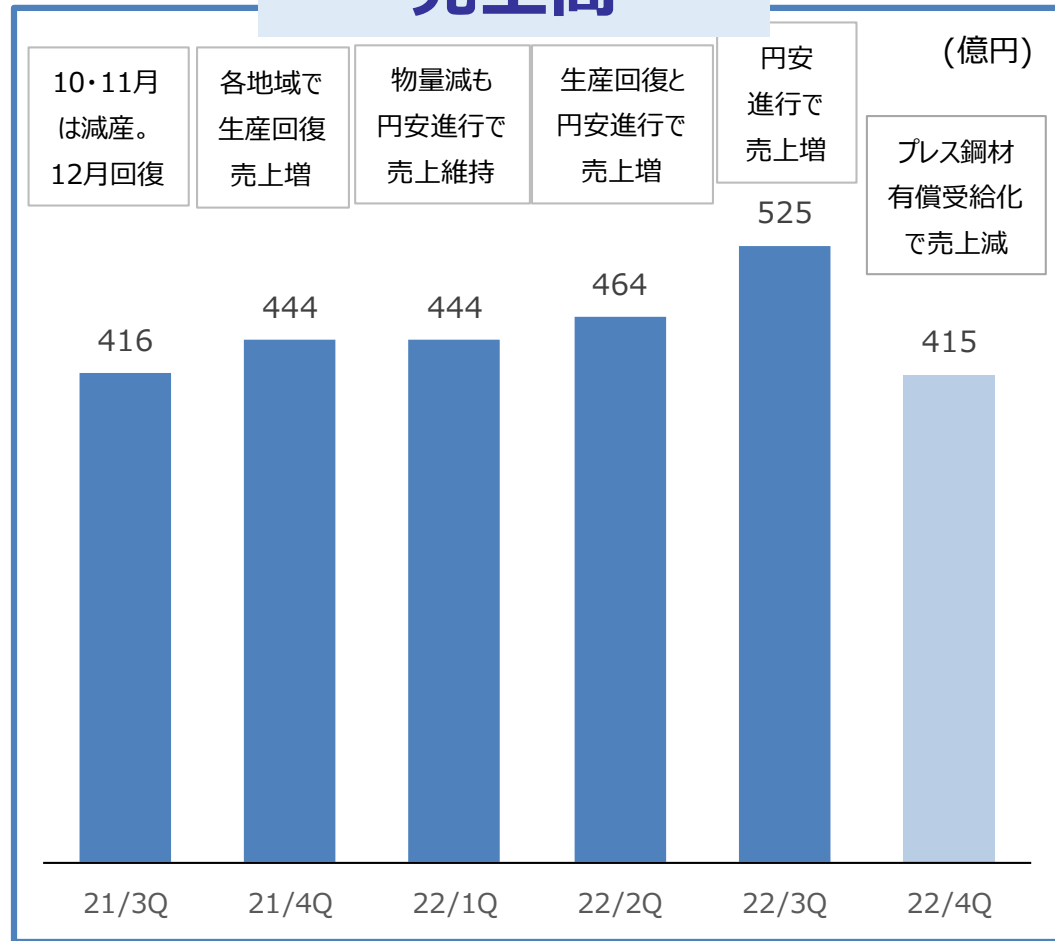
※2022年度第4四半期より、プレス部材有償受給化の増加により、53億円の売上減少を見込みます。利益への影響はありません。

2-6 四半期別 連結業績推移

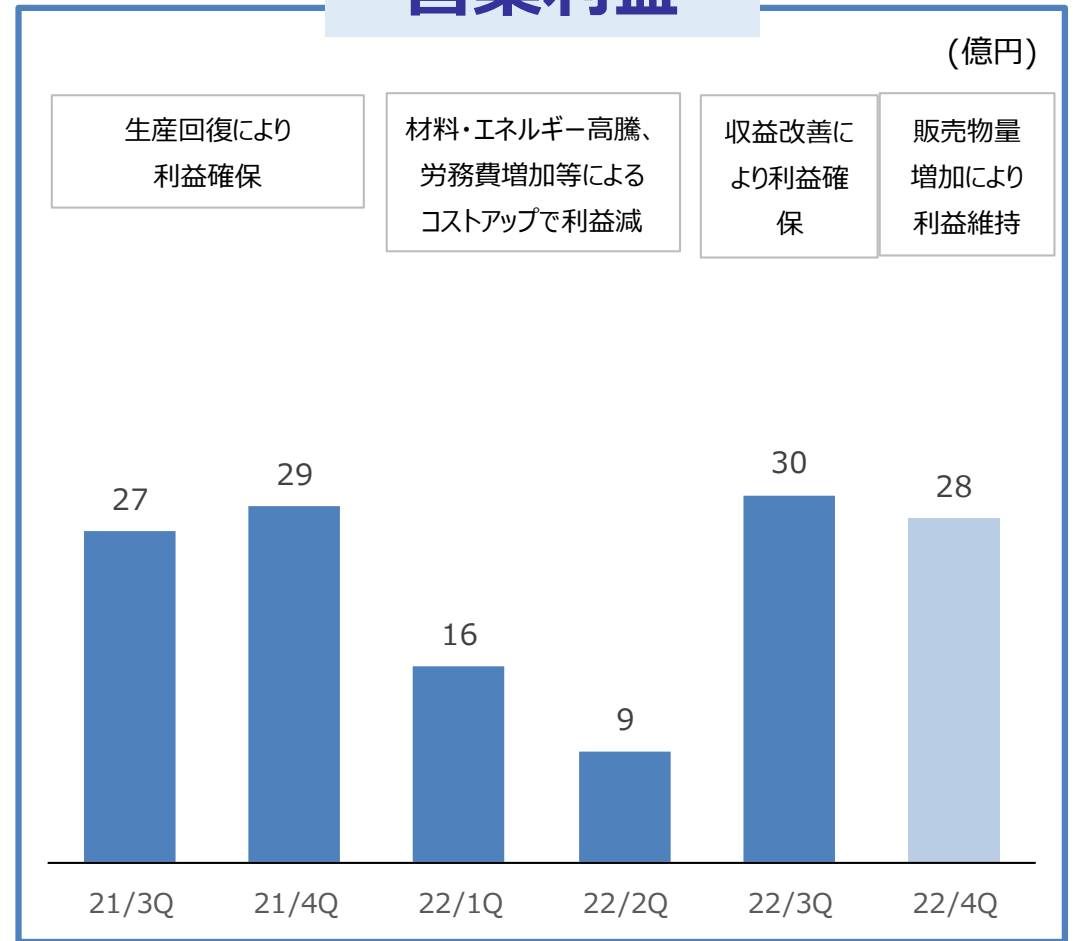


3Qは収益改善により利益を確保、4Qは販売物量増加により利益維持

売上高

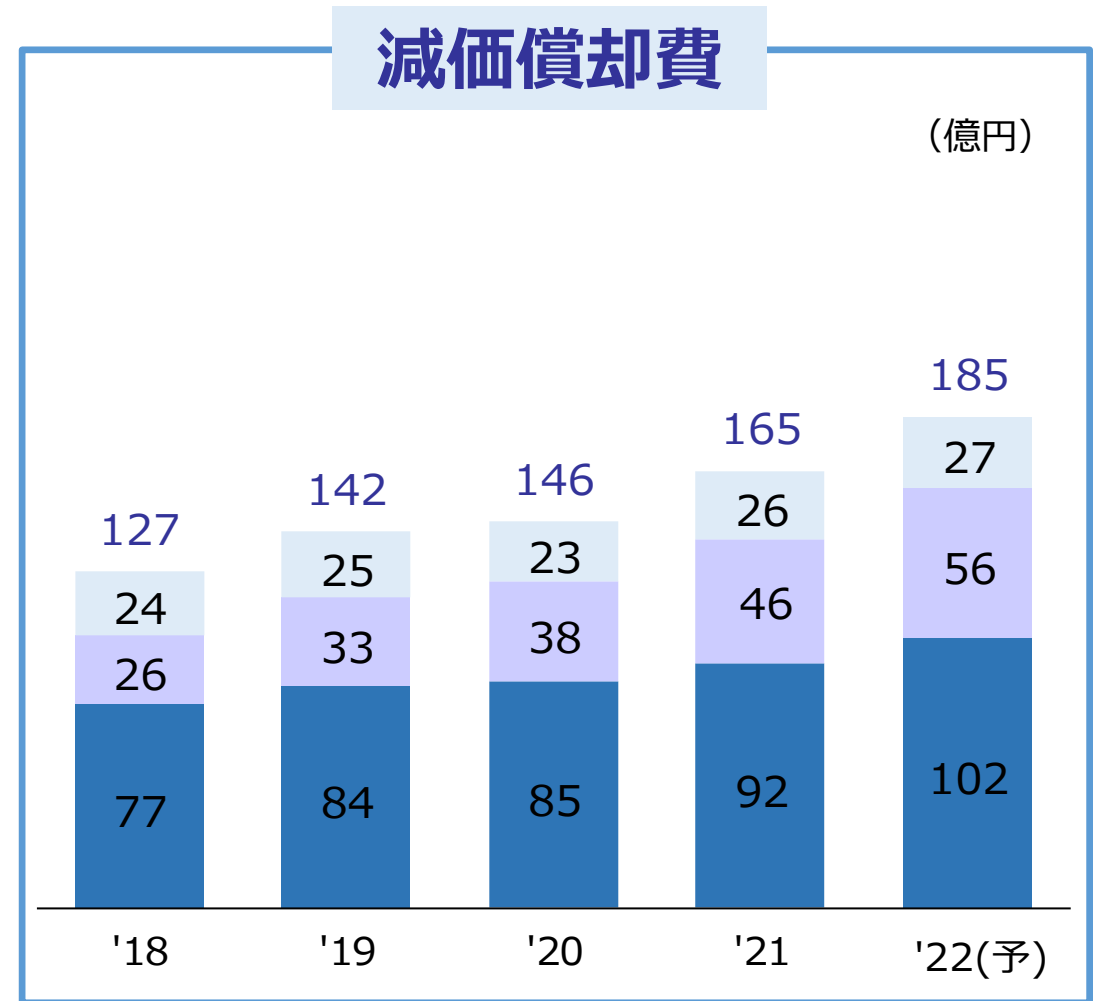
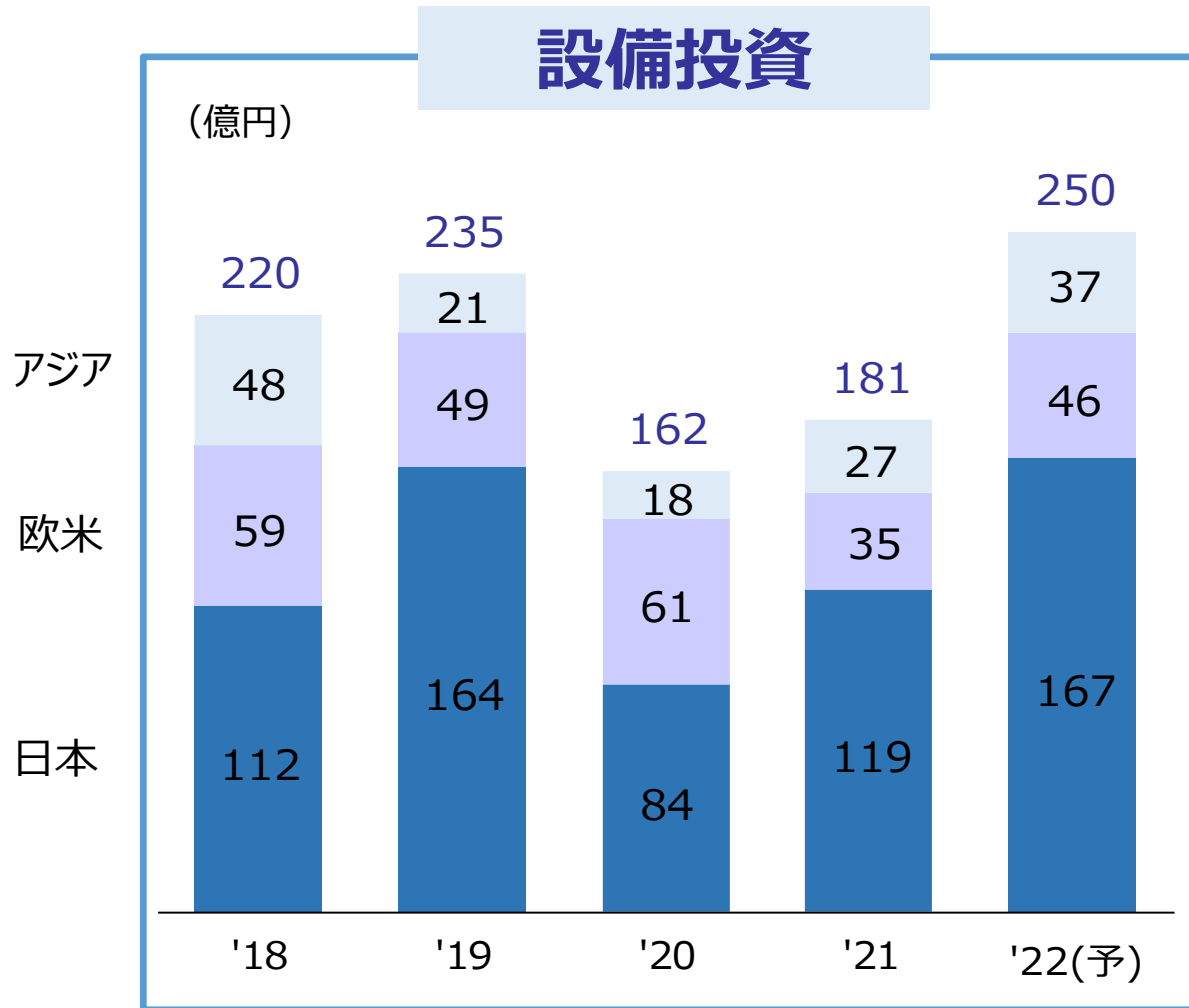


営業利益



2-7 連結設備投資・減価償却費

将来の成長のための投資を推進



2-8 トピックス

顧客・社会課題解決を推進し、企業価値の向上をめざす

「新型プリウス」 プロジェクト表彰受賞



1470MPa材ルーフセンターリフォース

- ・構造提案で衝突性能を維持しながら原価低減に貢献
- ・既存事業での提案力強化を推進

「e-WAVES」 新モデル発表



マルチセンシングロガー
「e-WAVES」

細胞輸送時の
活用イメージ

- ・業界ニーズに応えたハイスペックモデル
- ・細胞保管・輸送の品質管理を向上、再生医療分野の発展に貢献
- ・2023年4月 販売開始予定

再エネ導入推進



養老工場

□ : 増設部

- ・国内外で太陽光発電設備を増設
- ・国内再エネ比率30%を達成
- ・再エネ利用率 2030年目標：グローバル20% へ向けて前進

■ 経営環境の変化・リスク・機会

- ・半導体の供給不足解消、挽回生産へ移行
- ・原材料、エネルギー価格高騰の継続
- ・日銀金融政策の変化、北米景気減速懸念
- ・電動化の進展による、新製品需要の拡大

■ 今後の取組み

- ・挽回生産時の収益確保と、収益体質の強化
- ・電動化ビジネス機会をとらえた既存事業の拡大
- ・非自動車分野の開発スピードアップと、更なる新規事業の発掘
- ・中長期的な成長と価値創造に向けた、新中期経営計画の策定・推進



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow